



▲松尾台小学校校庭での観望会の様子

松尾台小学校の校庭では、午前7時30分頃に最大の部分日食となり、参加者から「わぁ、きれい」「ベイリービーズが見えた」「太陽が元の大きさに戻っていく」といった歓声があがりました(写真提供:猪名川天文台運営委員会委員)。



星と宇宙に親しむ初夏、金環日食&猪名川天文台「アストロピア」

金環日食の勉強会に84人参加

～松尾台小学校「とうちゃんクラブ」が主催～



特派員報告4月号に登場した、大西俊二代表率いる父親集団「とうちゃんクラブ」。「お父さんたちは、母親と違う視点で子どもと触れ合ってくれる。視線が子どもと同じかも！」とお母さんたちからも大好評です。

そんなとうちゃんクラブが「プレアデス」とタッグを組みました。5月2日、松尾台小学校の体育館。同クラブ主催の勉強会に、松尾台小学校、阿古谷小学校、中谷中学校の親子84人が大集合。

講師は、プレアデスのメンバー4人でした。プロジェクタを使った映像を見ながら日食の仕組みや観察方法を学び、「今回、松尾台小学校は猪名川町内で最良観測地の一つです」との講師の畑田さんの言葉に期待が高まり、一昨年の皆既日食を小笠原諸島で観測した講師の長濱さんの「夏でしたが、日食の瞬間は暗くなって真冬にしか見えないオリオン座が見えました」というお話に驚き、大人も子どももどんどん引き込まれていました。

説明の後、日食グラスを作成し、おみやげに天体望遠鏡で撮影した星の写真が全員にプレゼントされ、星と宇宙の世界に胸が躍る勉強会でした。

編集後記



夏がやってきます。夕涼みがてらに天体観測はうってつけ。
楽しい夏休みに備えて、今から星や宇宙と仲良しになりましょう。

て天体望遠鏡を入手する人も多く、自宅の庭で星を見るなど気軽に天体望遠鏡を使えるようになってきた。この日は「天体に興味が出て望遠鏡を購入したが使い方が難しく、今日が使い始め」という男性、「日頃は天体ファンの私が扱っているのが娘が一人で使えるようにしたい」という親子連れ、「クリスマスにサンタさんから贈られた天体望遠鏡を使えるようになった」という小学生の男の子たちが参加していました。天体望遠鏡のタイプは様々で、外国製の説明書は横文字のため、運営委員たちが読み砕いて説明する様子も見られました。まだ明るい間に望遠鏡を設置し、方向を定めた状態にして夜空を待ちます。観測対象は、捉えやすい月や人気の土星を手始めに使うことが多いそうです。見るだけでなく、望遠鏡でとらえた星や宇宙の姿を自分の手で写真に撮って残せるまでに使いたいという人もいました。

いながわ 特派員報告



高橋 祐子



田野 香織

太陽の中心部が月に隠され金の輪のように輝く現象の「金環日食」。日本中が盛り上がったこの世紀の天体ショーを早くから心待ちにしていた人も多かったのではないだろうか。
今回は、松尾台小学校での日食の観望の様子や町内にある猪名川天文台の施設について紹介します。

日食を観望

5月21日の日食当日、松尾台小学校の校庭で同校PTA

とうちゃんクラブ主催の観望会が行われました。早朝より約200人が集まり、天体ショーに魅了されました。今回の日食で天体の魅力に

天文台誕生

平成14年4月、大野山山頂に天文台が誕生しました。ここは、星空が美しく、天体観測に適した多くの条件が揃っていたのです。現在の運営や企画はボラン



▲猪名川天文台 アストロピア

観に来てね！ イベント情報

6月6日(水)には、金星が日面(太陽の面)を通過します。次回は105年後という大イベント。臨時開館し、通過の様子を天文台の望遠鏡でライブで見せてくれます。この非常に珍しい現象を見逃さず、太陽面を通過する黒丸の金星を楽しみましょう。その他にも、月1回の月面マラソンやメシエマラソンをはじめ、イベントが目白押し。土日に予定されているも

こんにちは！ 運営委員会です



会長 溝上 好弘さん

猪名川天文台アストロピアは、研究目的の学術的な天文台というより、星と宇宙を心から愛する私たちがいつまでも子どもたちの心を持ち続け、子どもたちと並んで星を見たり、一緒に宇宙について語り合ったりしたい、そんな気持ちで運営しています。もちろん大人も大歓迎。楽しみながら宇宙の魅力を知ってほしい、そんな思いでいろいろなイベントを企画運営しています。星や宇宙に親しむのに、ギリシア神話や誕生日の星占いの12星座から入るのも楽しいですよ。

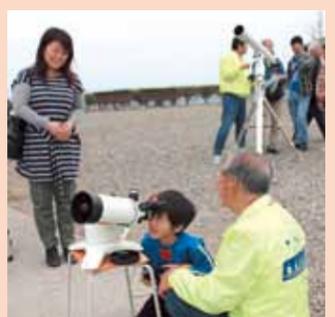
必見！ デジタルプラネタリウム

昨年7月、プラネタリウムがリニューアル。猪名川町が世界で初めて導入した最新鋭のマシンで、映像の鮮明さが自慢です。鑑賞してみま

たが、一面に広がる星の輝きが本当にきれいで、吸い込まれるようでした。詳しくは、猪名川天文台ホームページで確認できます(同天文台 ☎ 769・0770、木・金・土・日曜日、祝日午後1時30分～午後9時30分開館)。



「天体望遠鏡の使い方教室」に参加しました



4月29日に猪名川天文台で開催されました。大きな天文現象に合わせ

この日は「天体に興味が出て望遠鏡を購入したが使い方が難しく、今日が使い始め」という男性、「日頃は天体ファンの私が扱っているのが娘が一人で使えるようにしたい」という親子連れ、「クリスマスにサンタさんから贈られた天体望遠鏡を使えるようになった」という小学生の男の子たちが参加していました。天体望遠鏡のタイプは様々で、外国製の説明書は横文字のため、運営委員たちが読み砕いて説明する様子も見られました。まだ明るい間に望遠鏡を設置し、方向を定めた状態にして夜空を待ちます。観測対象は、捉えやすい月や人気の土星を手始めに使うことが多いそうです。見るだけでなく、望遠鏡でとらえた星や宇宙の姿を自分の手で写真に撮って残せるまでに使いたいという人もいました。